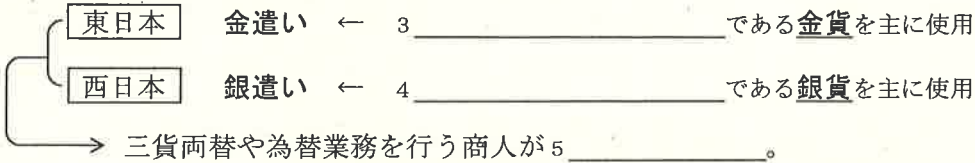


1. 貨幣と金融 [図表P.181]

☆金貨、銀貨、銭貨(→三つまとめて「1 _____」)——幕府に独占的鑄造権

※三貨不足を補うため、諸藩では2 _____や私札を発行。

早くから発行されていたものに、1630年の備後・福山藩や1661年の越前・福井藩のものがある。



※金銀を扱う大資本のものを「6 _____」という。

→^{くちもと}蔵元・^{かけや}掛屋(後述)を兼ねたり、^{だいみょうがし}大名貸を行うなどして巨利を得る

※銭を中心とする小額貨幣の両替を行うものは「銭両替(脇両替)」という。

【主な両替商】

(大坂)天王寺屋(大同生命へ)・平野屋(現食品販売会社)・^{こうのいけ}鴻池(財閥解体以降縮小)などの十人両替

(江戸)三井(現在も巨大グループ企業)・^{みたに}三谷(明治に破産)・^{かじま}鹿島屋(不明) など

呉服商から両替商に手を広げ、豪商となった三井家の例 [図表P.185②; 史料⑧]

三井高利による「越後屋呉服店」開業

→キャッチフレーズは「7 _____」

[公定相場] 金1両=銀8 _____ ~ _____ ^{もんめ}匁 ※1匁は4 ^ろ弱 [P.209③] → 図表P.181のまん中あたりは公定相場と知りヒントあり。

※金貨の単位は「両・ _____ ・ _____」の4進法、銀貨は「貫・ ^{かん}匁・分・厘・毛」、銭貨の単位は「貫・文」である。

○ まず教科書P.208 L.14~P.209 L.17を
読んで空欄にはあてはまる語句を考へよう。
その過程でわからない語句が出てきたら
『日本史用語集』などで調べてみよう。

↓
次に図表P.181で古代・中世の貨幣について
簡単な復習をしよう。

越後屋呉服店の商法が革新的であったことが
図P185図に記されている。絵図、説明文、表の
すべてに注意を払い、なぜ当時革新的とされたか、
を読み解こう。キャッチフレーズの意味もわかりませんか?

103 ヒント